キャラクター名: 秋 流星(とき りゅうせい)

プレイヤー名:

シンドローム	モルフェウス キュマイラ	ワークス	UGNチルドレンA	カヴァー	UGN一般職員…だった
オプショナル	ハヌマーン	年齢	推定15、たぶん	性別	男
覚醒	感染	衝動	破壊	初期侵食率	30 %
出自	天涯孤独	経験	大事故	邂逅	暁星晃/あけぼしあきら (PC③)

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値
肉体	4	1	0			5
感覚	2	0	0			2
精神	0	0	1			1
社会	2	0	0			2

HP	31
行動値	5
(非装備時)	5
戦闘移動	10
全力移動	20

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	5		射撃			ＲＣ	1		交渉		
回避	2		知覚			意志		1	調達	1	
運転：			芸術：			知識：			情報：UGN	1	
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
		0				

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

合計装甲：	0	合計回避：	0

所持品	
コネ：UGN幹部	
決闘者の剣	
ウェポンケース	
思い出の一品	
バディムーブ(エンブレム)UGP31	

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイタス	消費
賢者の石	P	N		
七曜 ミカゲ/PC②	P 幸福感	N 不安		
故郷(秋好市)	P 幸福感	N 疎外感		
	P	N		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P:	6	残り財産P：	2

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果：	非オーヴァードのエキストラ化							
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果：	コスト分のHPで復活							
コンセ：ハヌ	2	2	メジャー	ー	ー	シンドローム	ー	
効果：	C値-3							
水晶の剣	2	4	メジャー	至近	ー	自動	ー	
効果：	他のエフェクトと組み合わせ不可、武器を一つ選択、そのシナリオ間、選択した武器の攻撃力を+[Lv×2]する、1シナ3回まで							
天の業物	1	4	オート	視界	単体	自動	LIMIT	
効果：	《水晶の剣》を使用した武器を使用した攻撃の判定の直前に使用、その判定のC値を-1(下限値5)、このエフェクト1シナ1回							
フルパワーアタック	2	3	セットアップ	至近	自身	自動	80%	
効果：	R中白兵攻撃の攻撃力+[Lv×5]する、ただし行動値0となる							
居合い	3	3	ﾒｼﾞｬｰ/ﾘｱｸｼｮﾝ	ー	ー	白兵	ー	
効果：	このエフェクトを組み合わせた判定の達成値に+[Lv×2]、1R1回							
風の支配者	★	ー	メジャー	視界	範囲選択	自動	ー	
効果：	空気にうねりを起こし、周囲に風を発生させる							
眠れる遺伝子	★	ー	常時	至近	自身	自動	ー	
効果：	狼…みたいな子犬になるんだよなぁ、何でだ？							
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								

秋好という海沿いの街出身の少年
秋好には古くから狼と星にまつわる言い伝えがあり、毎年秋になると街の大通り広場で1週間、秋祭りが行われる
狼はこの街のカントリーサインにも描かれ、守り神の様に思われている為か流星自身も狼に馴染みがあり大好きなモチーフの1つ
来ている服に狼のワッペンなどを沢山つけていたり、狼柄の服などが好き

街のスラム街で生まれ育ち、とってもやんちゃで逞しい
親もおらず、いつ生まれて何歳なのか自分でもわからないが、本人にとってそれが当たり前だったので特に気にしてはいない
少し大きくなってから街を出て裏路地で危ない仕事やゴミ箱を漁って生きていた時、目に何が刺さり、以降左目を失明する出来事があった
本人は、何かガラスの破片でもどっからか飛んできたんじゃないか？くらいにしか思っていないが、賢者の石の石の破片が目に刺さり、以降ワーディングや記憶処理の影響を受けなくなってしまった

2年ほど前、暁星晃という人物に助けられUGNという所に連れて行かれたが、記憶処理の効力が薄い体質であったため、UGN側から一般職員(非オーヴァードのUGN職員)として働かないかという提案を受け承諾
暖かいお布団とご飯のある環境に大変嬉しく思っており、UGNって良いところだな！！と本人談

相変わらず裏路地で危なっかしい事をしていたら、七曜 ミカゲ/PC②に声をかけられ、以来流星の保護者の様な存在となっている
能力を扱っている姿がかっこいいのでこっそりついていき戦っている姿を見に行こうとするなどヤンチャぶりを発揮

その後賢者の石の適合者として完全に覚醒した
覚醒前でも後でも、相棒であるミカゲさん大好き